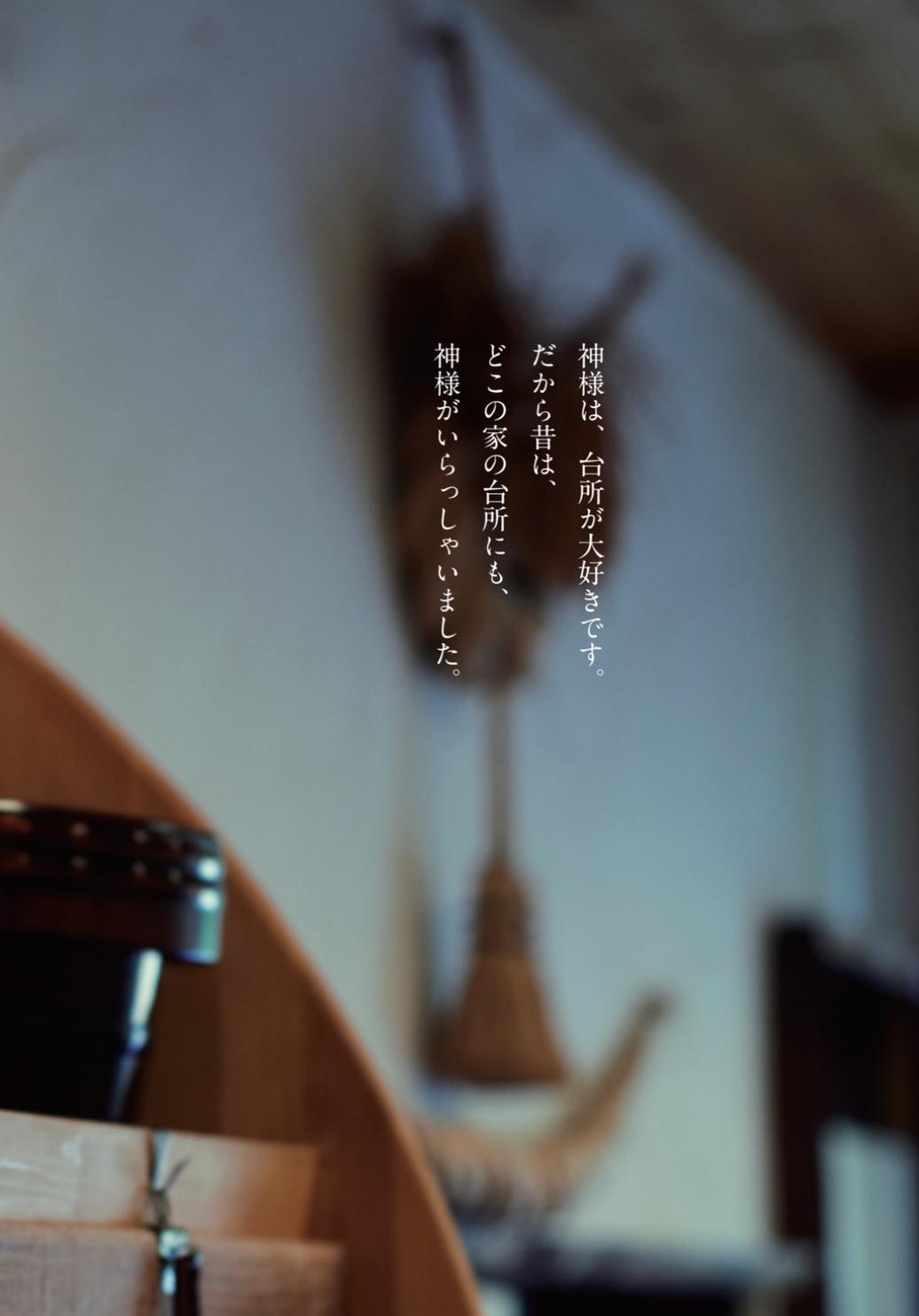


運を呼び込む
神様ごはん



神様は、台所が大好きです。
だから昔は、
どこの家の台所にも、
神様がいらっしやいました。



台所という場所は
いわば、家一軒一軒に存在する、
小さな神社のようなものなのです。



神様がいる台所。

そこでごはんを作りはじめると、

言葉では言い表せない、

自然と悩みが消えていくような、

凜とした気持ちになります。





そこで作ったごはんを食べると、
ちからがあふれてきて、

気持ちがるい方へ、

新しい方へと、向いていきます。

それは「おなかがあふくれた」とか、

「味がおいしい」というのとは

すこし違っていて、

なんとも心が満たされる、ごはんなのです。



台所に神様をお招きすることは
難しいことはありません。

やるべきことは、たった三つ、

- 一、台所を、神社のように見立てる
 - 二、台所に入る前に、自分をお清めする
 - 三、台所を、きれいに整理整頓する
- たったこれだけです。



昔の日本人が、そうしていたように、
台所を「神聖な領域」だと思って、
そこを、

「家の中で、一番気持ちのいい空間」に変えればいい。

気持ちがいい、ということとは、

そこには良い「空気」が流れています。



たとえ、同じ素材と、同じ調理法で
料理を作ったとしても、

作る場所や、作る人によって、
味も、食感も、

食べたときの気持ちも違うのは、

作る場所と、作る人が持っている

“空気” が違うから。

「空気」のちからによって、
ごはんは本来の味を発揮して、
「おいしくなる」だけではなく、
食べた人の心の中にある
「空気」の流れも変えるのです。





余計なことは考えなくてもいい。

ごほんさえ正せば、

人生は、すべてうまくいくのだから。

あなたと、あなたの大切な人が、

このシンプルな事実

に気づいてくださることを、

心から祈って。